

はじめに

グローバル社会や情報化社会が急速に進展する中で、各分野で求められる専門能力を身に付けさせる前提として、人間として踏まえるべき倫理観や道徳性が重要になってきます。また、社会問題になっているいじめ防止の観点からも、社会性や規範意識、善悪を判断する力、思いやりや弱者へのいたわりなどの豊かな心を育む道徳教育の改善・充実が一層求められています。

このような中で、平成 26 年 10 月に、中央教育審議会から、「道徳に係る教育課程の改善等について」（答申）が示され、道徳の時間を「特別の教科 道徳」として位置付けるなど、道徳の教科化に向けた制度改正等の動きが始まりました。そして、平成 27 年 2 月には、文部科学省から小・中学校の道徳について、学習指導要領の改正案が公表され、社会全体で道徳教育に取り組む気運が高まってきているところです。

本県においては、平成 14 年に「豊かな心を育むひろしま宣言」を発信し、県民ぐるみで道徳教育を推進する気運の醸成を図ってきました。その後、県内の各市町に道徳教育推進協議会を設置、道徳教育を牽引する推進リーダーを育成、学習指導要領の趣旨等を踏まえた魅力的な教材の開発・活用などに取り組んできました。

平成 26 年度からは、「『道徳教育改善・充実』総合対策事業」により、推進校及び推進地域を指定し、その成果を県内に普及還元しているところです。本書は、その成果として推進校・推進地域の道徳教育教材作成委員の協力により作成された「道徳教育研修ハンドブック」です。

各学校においては、本書を活用し、学校の教育活動全体で行う道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成に役立てていただくことを期待します。

平成 27 年 3 月

広島県教育委員会豊かな心育成課
課長 池田 彰夫